

令和8年度予算編成方針

【基本的事項】

政府は、6月に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2025」及び7月に行われた「経済財政諮問会議」において、米国の関税措置等の影響、物価上昇の継続に伴う経済の下振れリスクへの備え・対応に万全を期すほか、地方創生2.0の推進、物価上昇を上回る賃金上昇の普及・定着、官民連携による投資の拡大、外的環境の変化に強い経済構造の構築など、日本経済の成長力を強化することによって、成長型経済への確実な移行を目指すこととしており、令和8年度予算について、重要政策課題に必要な予算を講ずるとともに、歳出改革努力を継続することにより、メリハリの効いた編成を行っていくこととしている。

本市においては、これらの社会情勢の急速な変化を背景としながらも、市政の現場において危機感を共有し、地域経済をしっかりと守り抜くため、このまちにあるすべての資源を生かし、「釧路市まちづくり基本構想」に掲げる目指すべきまちづくりの実現に向けた取り組みを進めるとともに、人口減少社会に適応するため、令和6年度に策定した「第3期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく各種施策に取り組んでいる。

【健全で安定した財政運営と財源の確保】

長年にわたり釧路市の課題となっている少子高齢化や人口減少に加え、昨今の急激な賃金上昇・物価高騰の局面において、歳出の増に比べ歳入の増が追いつかない、という構造的な問題が表面化した。市を取り巻く社会情勢の変化に対応し、行政サービスの水準を維持し、未来を切り拓いていくよう、事務事業の見直しと、職員の働き方改革に同時に取り組んでいるところである。

そのため、これまで以上に徹底した事業の廃止・見直しにより財源を生み出し、職員の余力も生み出すことで、健全な財政運営と釧路市が成長するために必要な取り組みへの投資を両立させ、市民の雇用の確保・所得の向上などを通じて、市税等自主財源の增收に結び付けていくことが重要である。

全庁が一丸となって知恵を出し合い、事業一つひとつの効果や効率性について客観的なデータ等を基に検証し、将来に向けた投資という長期的な視点で歳出の重点化を進めていくとともに、市の実質的な負担を抑制し、より一層投資効果を拡大するため、国等の補助金や交付税措置のある有利な事業構築に積極的に努める必要がある。

【目指すべきまちづくりの実現に向けて】

令和8年度予算編成においては、事業のスリム化に取り組むとともに、すべての市民が幸せで笑顔あふれるまち釧路市を目指し、地元企業が稼げる環境を整え、笑顔で働ける市役所を作り、若者や女性が元気になれる施策を展開する。

時代は激変期に入り、今までどおりにはいかなくなっている。職員各位にあっては、未来の世代に対し、我々の世代ができることは何なのか、我々が進めるべき政策は何か、一人ひとりが考えながら、全員で力を合わせて創意工夫に努め、万全を期されたい。

2025年（令和7年）8月27日

釧路市長 鶴間秀典